

委託費・補助金	新エネルギー系統対策蓄電システム技術開発	フェーズ：B	支援分野：蓄電システム技術開発	23年度予算額：20億円 今年度の募集期間：未定（今年度新規）
事業の概要	<p>○大規模な新エネルギーの供給を可能とするために、出力の影響を緩和し、送電系統の安定化を図るための大型蓄電池及びシステムの開発を行い、実証によりその有効性を検証します</p>			
支援内容	<p>○大規模風力発電及び太陽光発電の出力の影響を緩和し系統の安定化を図るための蓄電システムの技術開発を行います。</p> <p>○具体的には、蓄電池の大型化、長寿命化に向けた技術開発や大型のリチウムイオン電池の高性能化、低価格化等の開発を行います。</p> <p>○本事業により、従来の出力抑制のみに頼らない系統安定化対策を実現し、新エネルギーによる電力を有効活用するとともに大規模な導入を加速化します。</p> <div data-bbox="1205 384 1982 1302" data-label="Diagram"> <p>○電気出力が不安定で大規模な新エネルギー発電施設は、ローカルな地域に設置されることが多い。</p> <p>○そのため送電線の容量が小さいため、発電機の増設の抑制や供給過多時に解列されるなど発電事業者の新エネ促進を阻害する。</p> <p><b>系統対策蓄電システムの開発</b></p> <p>○大型蓄電システムは新エネ出力の安定化、電力の安定供給、送電設備の予備力にも利用可能。</p> <p>（将来的には、新エネ用として必要な調整用マストラン火力を減少させる効果も期待される。）</p> <p>広域融通・安定供給</p> </div>			
実施スキーム				
お問い合わせ先	<p>資源エネルギー庁 新エネルギー対策課 TEL:03-3501-4031</p>			